

平成23(2011)年夏の夜間開園時の夜開性・夜香性植物開花状況 (大温室、熱帯スイレン温室の植物)

磯部実、高井敦雄、竹本香織、
佐上賢治、西本昭作

はじめに

平成23年の夏の花と光のページェント(夜間開園)は9月10日、11日、17日、18日、23日、24日に行なわれた。大温室、熱帯スイレン温室において開花または芳香を入園者に楽しんでもらえた夜開性植物を記録する(表参照)。

なお、4月に2回と12月に5回夜間開園を行ったが、4には夜咲きスイレン、12月には夜咲きスイレンとヤコウタケが展示できた。

開花状況

サガリバナは地植えの大木(樹高4m)が7月ごろより開花を始め、8月中旬には最盛期になり9月の夜間開園時には開花数は少なくなった。過去2年は花が早く咲き終わってしまったので、前年の秋の剪定は例年よりさらに遅い12月上旬(前年は11月中旬)に行い、樹形を整え、開花枝の形成を遅らせるように考慮したが、9月に開花最盛期にすることは出来なかった。その他、正面池そばの自然実生個体(樹高約2m)や20号コンテナ植え個体2本(樹高約2m)、12号大鉢植え個体(樹高1~2m)数本も春から充実枝の捨枝や下方誘引を行ったところそれぞれに開花がみられ、期間中いくつかは展示することができた。

夜咲き熱帯スイレンは生育が悪く、例年より開花数が少なく9月17日、18日に不開花だった。ただ10~12月にかけて多くの花が咲き、日中でも午前中には花を見ることができた。オオオニバス類はロングウッドオオオニバス(写真1)とパラグアイオニバスが主に開花した。1日目の花が開花する日は強い香りを感じることができた。

ヤコウボク、イランイランノキは花の多少はあったが、夜間開園時には展示することができ、芳香を楽しんでもらえた。イエライシヤンは例年に比べて生育が悪く、9月上旬は直前に購入した花付きの鉢植えで展示し、その後は園の保有株が展示できた。

ヤコウタケは昨年と同様に冷房室(フクシア温室)に移動するなどの暑さ対策を講じたが、導入が例年に比べて遅れたことが原因のためか、

間開園中は展示できなかった。10月以降の気温低下時には熱帯スイレン温室に移動するなどして10~12月に多く発生し大温室トンネル内の展示場所において展示することができた。特に12月の夜間開園時に多くのきのこを展示し、入園者には好評であった。

ゲッカビジンは9月10日、11日、17日に開花した。10日、17日は鉢植えのみの展示であったが、11日は地植えと鉢植えの多くの花を見ることができた。通常ではこの時期、開花時間が日没後の8時以降になるため夜間開園終了まで1時間しか楽しむことが出来ないため、夕方早めに咲かせるように蕾が大きくなった鉢植えを数日前から昼夜の時間帯をずらした開花の調整を行い(栽培記録30号参照)、夕方6時ごろから開花した株を展示した(写真2)。

課題と対策

サガリバナは樹が大きく成長したことによって開花数が増え、多くの花を見ることができるようになったが、開花盛期が8月になるため、夜間開園時期の9月になるように冬の剪定期をさらに遅らすなどの工夫や、鉢植えなどの若い個体は捨枝など花芽分化促進による開花数の増大が必要である。

夜間開園時に展示したオオオニバス類はロングウッドオオオニバス3株とパラグアイオニバス1株で計4株であった。しかしロングウッドオオオニバスの1株は遅くから定植したため株が小さく未開花であった。またパラグアイオニバスは小さい熱帯スイレン用容器の栽培展示であったため生育が悪く花は小さかった。いずれの株も夏までに大株に育てる必要がある。

ヤコウボク、イエライシヤン、イランイランノキについては適正な剪定とカイガラムシなどの害虫の徹底防除を行うことにより開花を確実なものにできると考える。

ヤコウタケは充実した菌床を早めに導入し、発生に適する環境の整備が大切で、特に高温時に冷房室などで発生適温を保ち発生を促すなど、展示技術の確立を目指す必要がある。

ゲッカビジンは開花が不安定であるが本年は6回の夜間開園日のうち3回開花をみることができた。安定的に開花させるためには冷房室などで花芽分化や花芽の発達をコントロールする方法を検討する必要がある。

表.平成23(2011)年夏の夜間開園の夜開性、夜香性植物開花状況

植物名	9月10日	9月11日	9月17日	9月18日	9月23日	9月24日	主な生育開花状況その他
サガリバナ	○	○	○	○	○	○	8月中旬に最盛期になり9月は少なかった
ゲッカビジン	○ 鉢植え3輪	◎ 地植え4輪、鉢植え10輪	○ 鉢植え3輪	×	×	×	9月上旬に最盛期
夜咲き熱帯スイレン	○	○	×	×	○	○	9月は少なく、10月に多く咲いた
オオオニバス	×	◎ ※ロ1日目2輪	○ ※パ2日目1輪、ロ2日目2輪	○ ロ1日目1輪	○ ロ1日目1輪	◎ ロ1日目1輪、ロ2日目1輪	アマゾニカは苗不作で展示できなかった
ヤコウボク	○	○	○	○	○	◎	上旬は鉢植えの展示
イエライシャ	○	○	○	○	○	○	開花が遅れ上旬は購入鉢植えの展示
イランイランノキ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	順調に開花した
ヤコウタケ	×	×	×	×	×	×	発生が遅れ、10～12月に多く発生・展示した

◎:非常に良好な状態で展示、○:良好、×:展示できず

※パ:パラグアイ種、ロ:ロングウッド種

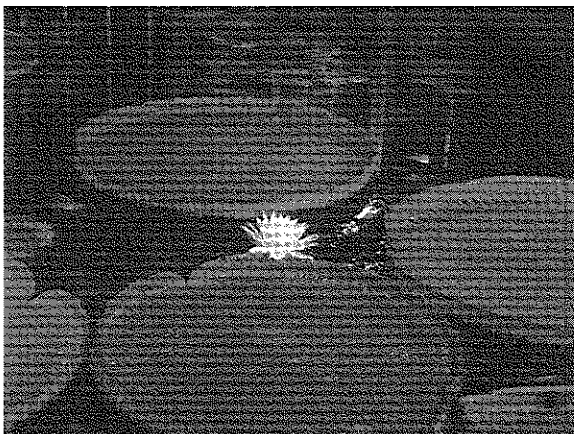


写真1. ロングウッドオオオニバス



写真2. ゲッカビジン